

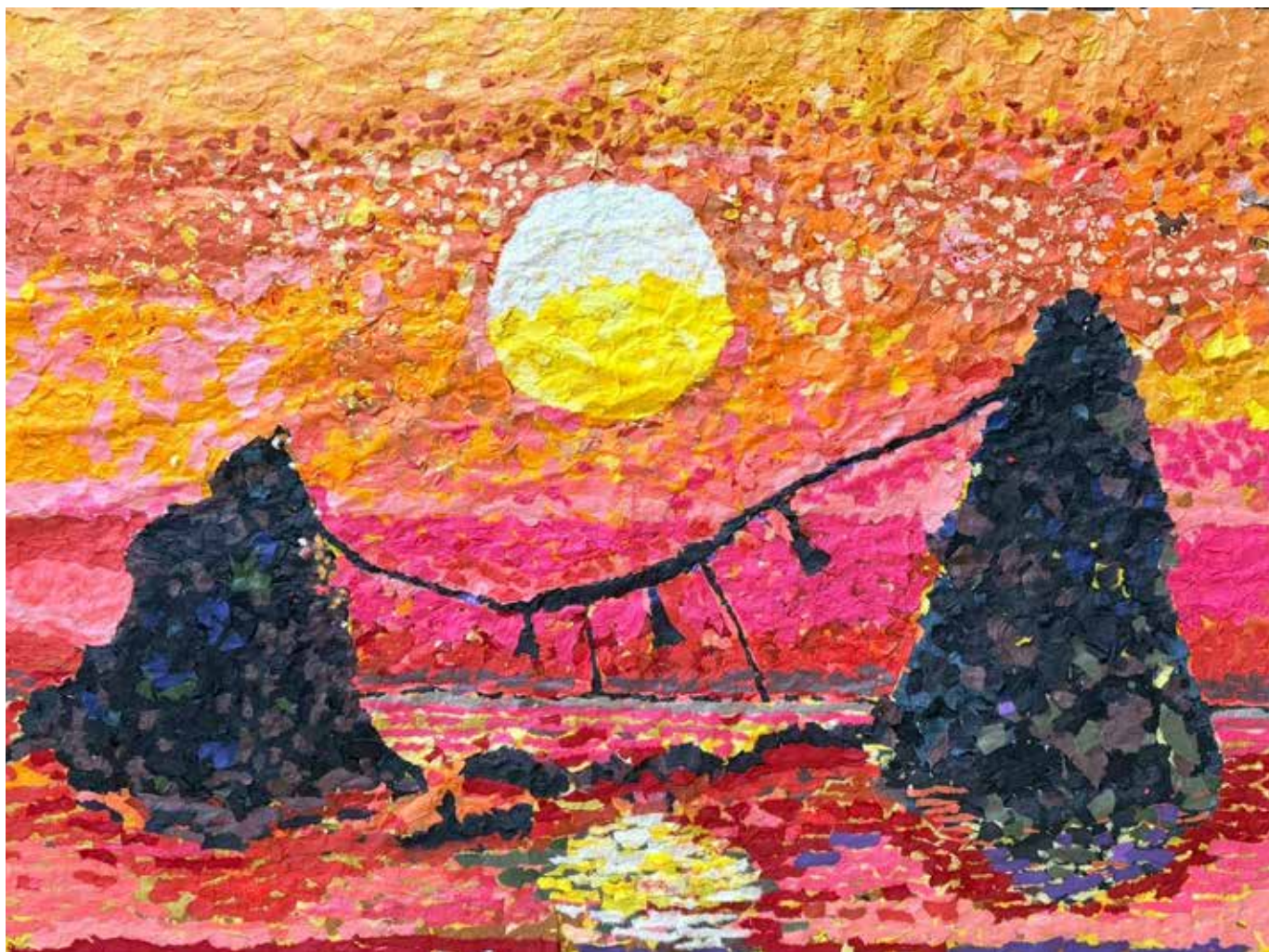


# コトノン便り

言の葉 2025 年テーマ「何のために何を」

# 12

2025  
NO.115



言の葉の存在意義

Purpose

「リハビリテーションの力で、“その人らしさ”と“その街らしさ”を育む」



Instagram



HomePage

# 「10年一区切り」

先日、スタッフの結婚式に出席しました。有難いことに会社を設立して10年間に、6名のスタッフの結婚に巡り会いました。

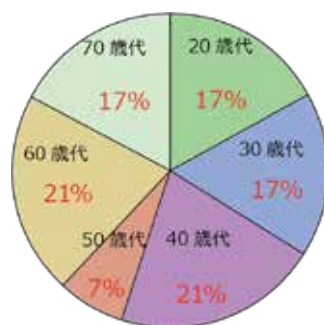
デイサービスや訪問看護のような事業はある程度、そのための、会社設立当初は若手の採用よりも中堅・ベテランの採用に重きを置いていました。3名のスタッフでスタートさせた10年前に

今のように若いスタッフが増えることは想像していませんでした。しかし、おかげさまで現在は20歳代〜70歳代のスタッフが在籍しています。ベテランや中堅は専門的経験や社会人としての考え方を若手に伝え、若手は新しい価値観・発想を社内へ取り入れてくれます。

生産年齢人口が減少していくこれからの時代に、より良いサービスを持続して届ける鍵となるのは、若者が集まり主役となれるチームをつくることだと考えています。

しかし、ただ集まり、主役になるのでは意味がありません。集まった若者達が今よりもっと温かく、優しく、かつ革新的で斬新で、『障害のある人もない人も皆が豊かに暮らせる』ことに貢献できなければなりません。

そのためには、若者自身の今まで以上の努力はもちろんですが、『想い』を繋いでいくベテラン・



年代別職員割合 (R7.11)

中堅の存在が必要不可欠です。

オンラインなどバーチャルな世界が広がっており、かつ多様な価値観から誤解やハラスメントが生じやすい現代社会において、いかに『想い』を繋ぐことができるのかにかかっていると言っても過言ではないと思います。

会社の世代割合からいうと、私自身はまだ中堅に位置すると思っています。有難いことに私よりも経験豊富な先輩がたく

さんそばにいてくれます。

会社としてまだまだ発展途上であり、行き届かない点も多いと思います。

各事業所の管理者を中心に一步步ずつ前進し、今日よりも明日、明日よりも明後日と、良いサービスが提供できるよう努力していきま

す。  
10年一区切りという言葉もありますが、今回のスタッフの結婚式で改めて今までの10年と次の10年を考えるきっかけとなりました。

人生は、出会いと別れの連続であり、巡り合わせの中で生かされていると思います。

次の10年はどういうような巡り合わせが待っているのか楽しみです。



中村 太一  
代表取締役 言語聴覚士

## 言葉の誓い Statement

### 1. 「らしさを広げる」

私たちは、「あなたらしさ・私らしさ・私たちらしさ」を大切にし、共に広げていきます。



# コミュニケーションデイサービス 言の葉

## ときめき作品展鑑賞ツアー2025

今年も「ときめき作品展鑑賞ツアー」を開催しました。

今年で4回目となり、デイサービスの恒例行事となっています。

皆さんこの日に向けて日々の作品づくりに汗を流しています。

仲間づくりのリハビリテーションの1つの柱の活動になっています。



ご利用者さん 17 名、ご家族 11 名、スタッフ 8 名、ボランティア 2 名の総勢 38 名の参加となりました



デイサービスの合作



きっずの合作

今年こそ大賞がとれますように！！

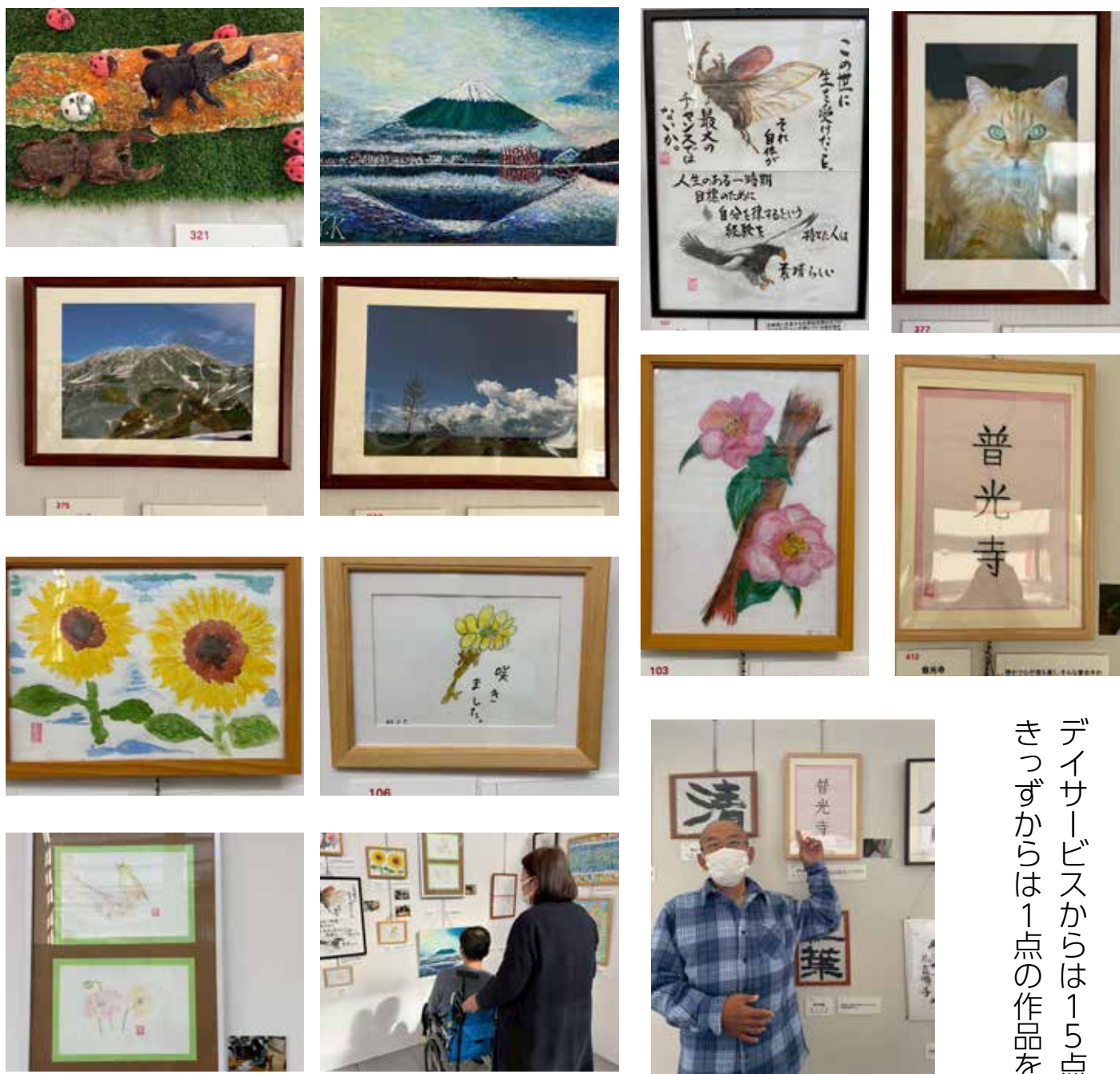


### 言の葉の誓い Statement

#### 2.「食と会話でつながる」

私たちは、コミュニケーションと食をテーマに、人と人のつながりを生み出します。





デイサービスからは15点。  
きつずからは1点の作品を出展しました。



ツアーの締めは美味しいお食事です



ご夫婦でのツーショットもたくさん撮影しました



## 言の葉の誓い Statement

### 3.「人と街を信じる」

私たちは、その人の力を信じ、その街の力を信じ、リハビリテーションの視点から新しい可能性を共に開きます。



# 訪問看護ステーション 言の葉



## 七瀬自然公園のかかし祭り 看護師さん達のアイデア賞を受賞

11月2日～23日に七瀬川自然公園にてかかし祭りが開催されました。

言の葉からも「地域の輪（コトレンジャー）」をテーマにかかしを作って展示しました。

会場に足を運んでくださった方も多く、ありがとうございました。

みごと、「看護師さんのアイデア賞」という特別賞をいただきました。



作成は大掛かり



途中の顔なしバージョンもかわいいです



みんなを車に乗せて会場へ



きつずのこどもたちも遊びに  
写真映えコーナーが大好評



村井Nsが表彰式へ  
お祭り後はしばらく  
デイサービスに飾っ  
ています

## 言の葉が目指す未来 Vision

「障害のある人もない人も皆が支え合い、豊かに暮らせる街を育む」

# 言の葉きっず

## 危険予測・発見活動（KY 活動）

### テーマ：廊下の危険を探そう

今月のKY活動は、「廊下」に潜む危険について、こども達と話し合いました。きっずの廊下では、元気いっぱい走り回るこども達の姿が日常です。そのたび「走るとどうなる?」「どうしたらいい?」と話し合います。しかし、元気一杯のこども達は、楽しいことや興味のあることがあると一気に全力疾走へ。元気なことが一番であり嬉しいことですが、壁やお友達にぶつかってしまう危険性があります。

そこで、今回は改めて“どうしたら本当に安全に過ごせるか”を、こども達自身の力で考えてみました。話し合いでは、

「水がこぼれてて滑って頭打つかも」

「棚が倒れてきたら危ない」

「ふすまで手を挟むこともあるよ」

「走ってる子同士がぶつかっちゃう!」



など、こども達から次々と意見が出ました。中でも特に危険だと選ばれたのは「廊下を走ること」。

対策として「歩く」と決めたものの、では“どうしたら歩けるようになるか”をさらに深めて考えました。すると、「学校では走らない!」という声が。

理由を聞くと「だって、走らないって張り紙があるから!」とのこと。そこから「じゃあ、きっずにも張り紙を作ろう!」という素敵な提案が生まれました。さらに、「横断歩道を作って、歩いて渡る」「止まれを作って止まって安全確認をする」といった意見も飛び出し、実際に廊下に横断歩道や標識を作るなど、みんなで“自分たちのルール”を形にしました。

遊びの中ではまだ走り出してしまう場面もありますが、「自分たちで決めたこと」によって、意識的に歩こうとする姿や、お友達に「走っちゃだめだよ」と声をかける姿も見られています。

話し合いを通して、“考える”“伝える”“守る”という学びが、少しずつ日常に根づいてきています。

お家でもぜひ、「どうして廊下を走らないようにしたの?」と聞いてみてください。

こども達の中には、“考えて”“守ろうとする気持ち”が育っています。



その小さな成長を、ぜひたっぷり褒めてあげてくださいね!

## 言の葉が果たす役割 Mission

### 全世代の人生に寄り添うリハビリテーション

「こどもから高齢者まで全世代に、生活を創造する真のリハビリテーションサービスを提供し、その人の人生を共に歩みます」



# 言の葉きっず

## 素敵な瞬間♪

場面緘黙症の A 君の成長の証



場面緘黙症 A 君は、家以外では声を出してお話することがほとんどありません。きっずに通い始めた頃も、自分から何かを伝えようとする事なく、「A 君、これいる？」などの質問に首を横か縦に振るといった身振りで自分の気持ちを伝えてくれていました。

そんな A 君でしたがきっずに通い始めて数ヶ月経った頃、「これいる？」のような質問に「いる」「いらん」など小声ですが、声に出して、言葉で応じてくれるようになりました。

これは、本人が安心して過ごせているからこそ、少しずつ声に出して気持ちを伝えてくれているのだと思います。

そこから数ヶ月経った今では、さらに変化がでてきています！

それは、運動会シーズンに入った時の出来事です。学校にお迎えに行き、きっずに帰ってくると複数のスタッフの元に駆け寄り、自ら「(かけっこで) 1 位になった」と自分から声に出して教えてくれました！

きっずに通い出して数ヶ月の成長の証です！とても嬉しい出来ことです。

## 人前でお話が苦手なこどもに対して 言の葉きっずの支援のあり方

### ①その子にとって安心できる環境を整える

### ②スタッフやこども達が本人と信頼関係を築く

この 2 つは当たり前のように、実は難しいことでもあります。

この 2 つを成し遂げるためには、本人の好きなことや得意なことは何か、何に対して不安や緊張感を抱いているのか、本人はどうしたいとおもっているのかなど「その子を知る」ことが必要不可欠です。「その子を知る」ことが支援者の専門性になります。

そして、「その子を知る」ためにも、家庭や学校など本人が普段過ごしている人たちと連携をとっていく支援が欠かせません。

きっずでは、ご家族との面談や関係機関との連携会議を積極的に行っています。



## 言の葉が大切にしている価値 Value

1.Mind いつも笑顔で真心を届ける

## Jun's Essay No.57

### 記憶のパヒューム、一年を振り返ってみますか

月だ。」

所用があ組みと関係がある。人間の五感「12月は、世界の中で、香りをの音量が上がる感じる嗅覚だけが、記憶をつかさどる海馬という



街はクリスマスソングとセールのアナウンスで溢れ、人々は年内に何かしらの「仕上げ」を目指し、小走りしながら路地を歩いているのだろうか。カレンダーの下の方を見ると、私たちを急ぎ立てるように感じる。急いで一年を使い切らなければならぬと言っているようでもある。

けれど、私はこの師走の喧騒が嫌いではない。むしろ、街のパヒューム（香り）にふと立ち止まってしまふ。街や人並みを俯瞰し、厚手の服を着て、冷たい空気の中に漂う、どこか懐かしい香りがする瞬間が好きだ。それは、賑やかな中に紛れてしまいがちな、一年の「残り香」を探す時間だ。

香りと記憶が結びつくのは脳の仕

脳の部位にほぼ直接的に信号を送ることができるので。香りの情報は、喜怒哀楽をつかさどる大脳辺縁系という脳の部位へ信号を送り、そこにある海馬などが反応を起こすというわけだ。海馬は記憶の保管庫のような役割を持っているので、匂いを察知するとほぼ同時にその該当するファイル（記憶情報）を見つけ出し、その時に感じた喜怒哀楽や好き嫌いの感情までもが呼び起こされるといいう仕組だ。だから私たちは、匂いを嗅いだ瞬間に「記憶」と「好き嫌いや喜怒哀楽の感情」がよみがえるといいうことだ。

太古の昔、人間が自分たちの命を守るため、危険に関する情報は瞬時に得る必要があった。夜闇の中でも獣たちから身を守るためには、獣の

匂いをすぐさま察知しなければならぬ。そういった意味合いから嗅覚器官のことを、「原始脳」とも呼ばれたりする。このように匂いと脳が結びつく仕組みは「ブルースト効果」と呼ばれている。フランスの文豪、マルセル・プルーストの著書『失われた時を求めて』の中に出てくる「マドレーヌが焼けた匂いととも昔の記憶が甦る」という一節から名づけられた言葉らしい。

今年、自分は一体何を手にし、何を失ったのだろうか。来年のことを考える前に、まずはこの12月の静かな夜に、「記憶のパヒューム」から心の中に残った小さな温もりや、予想外の失敗、そして一番輝いていた瞬間を、そっと拾い集めてみた



森 淳一  
言語聴覚士

大分県の言語聴覚士の第一人者（第3代大分県言語聴覚士協会会長 H19～H23）。

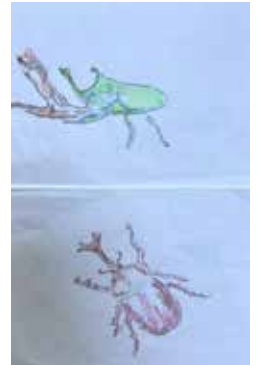
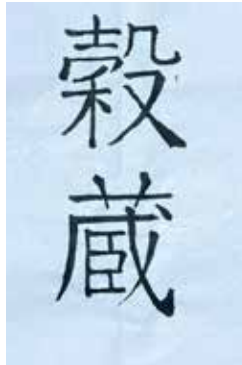
湯布院厚生年金病院リハ副部長、大分リハビリテーション病院リハ部長を歴任。現在も日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、大分オーラルリハビリテーション研究会代表等を務める。趣味は音楽、パソコン、映画鑑賞、お酒などなど。

言の葉が大切にされる価値 Value

2. Professional 準備と努力を怠らない



## 言の葉作品展



言の葉が大切にする価値 Value  
3.One Team 一致団結して前進する

# 言の葉 SHOP



言の葉 コーヒー

## クリスマスセット



**クリスマスセット (200g×3袋)** 3,500円 (税込)



【1袋200g×3袋 豆の特徴】

03：モカをメインにブレンド。モカの香りと爽やかな酸味が特徴

05：グアテマラを使ったバランスの良いコーヒー。後味スッキリ、食後にピッタリ。

06：コクと酸味が良いトラジャの豆を使ったコーヒー。香りよくしっかりとした味わい。



**ドリップバッグセット (10個入り)** 1,800円 (税込)



親しい人やお世話になった人へのクリスマスプレゼントにも♪  
年末のご挨拶にもいかがでしょうか！？

**注文先 12月にお届けします** ※注文締切12月15日

**FAX : 097-509-1320**

**Mail : kotonoha@habisapo.jp**

氏名			
住所			
電話番号		クリスマスセット (豆・粉)	セット
メール		ドリップ バックセット	セット

言の葉が大切にしている価値 Value

4.Community 地域の一員としてつながる



今月は、「ヒアリングフレイル」について紹介します。

「ヒアリングフレイル」とは、ヒアリング＝聞こえ、フレイル＝虚弱という意味であり、聞き取る機能の衰えのことです。ヒアリングフレイルを放置すると、心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ状態となるリスクが高まります。

また、ある研究によると、難聴を放置した場合の認知症リスクは、軽度の難聴は2倍、中等度の難聴は3倍、重度の難聴は5倍というデータもあります。

聴力の低下は視力に比べ気づかれにくく、放置されてしまうことも少な

なくありません。

ヒアリングフレイルの対策は早期発見・早期治療が重要です。聞こえの変化を感じたら、耳鼻咽喉科に相談することをお勧めします。また、今回はヒアリングフレイルの始まりに気づくためのポイントを紹介します。ぜひ、ご家族同士で確認してみてください。ヒアリングフレイルについて気になる方はいつでもご相談ください。



## ヒアリングフレイルチェックリスト

4つ以上当てはまると聴力低下によるフレイルのリスクが高まります

- 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われる
- 相手の言ったことを推測で判断することがある
- 外出することが億劫になった
- 会議や会食など複数人の会話がうまく聞き取れない
- 話し声が大きいと言われる
- 会話をしている時に聞き返すことが増えた
- 大きな声で話しかけられてもうまく聞き取れずに聞こえるふりをしてしまう

聞こえにくさをそのままにしていますか？  
①本人チェック

3つ以上当てはまると関わり合い方の変化をきっかけにヒアリングフレイルのリスクが高まります

- 難聴の方と話す際に必ず大きな声になってしまう
- 何度も同じことを話す必要があり疲れる
- 難聴の方と話すことが億劫と感じてしまう時がある
- 難聴をきっかけに両親との会話が減ってきていると感じる
- 話しかけられても曖昧な返事をしてしまう時がある

聞こえにくい方との関わり合い方大丈夫ですか？  
②周囲のチェック

引用： <https://hearingfrail.jp/#anchor1> 聴脳科学総合研究所

言の葉が大切にする価値 Value

5.Challenge 挑戦の一步を踏み出す

## 米米月記（衛藤農家さんのお米づくり） .....



稲刈りが終わり、ひと段落。ではなく、来年の田植えに向けた準備が始まっています。



プール田んぼのお米も稲掛けして、脱穀、精米と自分たちで完了しました！

## 言の葉間違い探し .....



←間違い5つ見つかりましたか！？正解は、こちらを確認してね！！